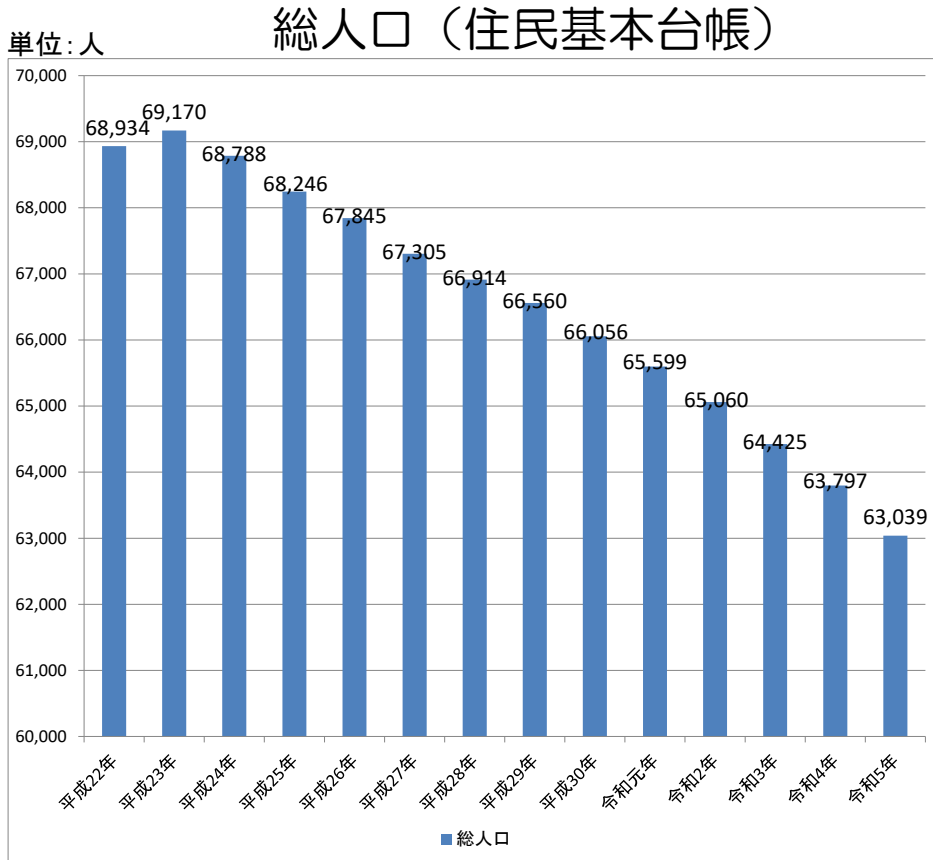
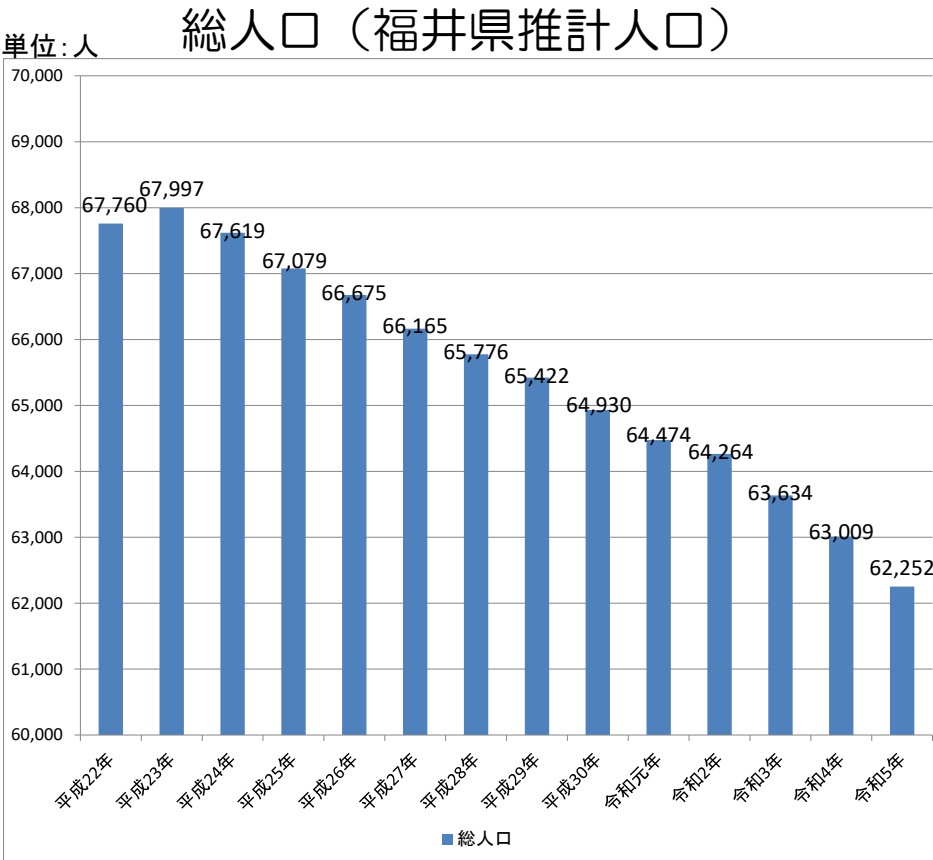


敦賀市の人口統計データと 人口減少対策

令和 6 年 5 月
敦 賀 市

1. 敦賀市の人口 (1) 総人口



	H23 (2011)	R5 (2023)	
県推計人口	67,997人	62,252人	▲5,745人 (▲8.4%)
住民基本台帳	69,170人	63,039人	▲6,131人 (▲8.9%)

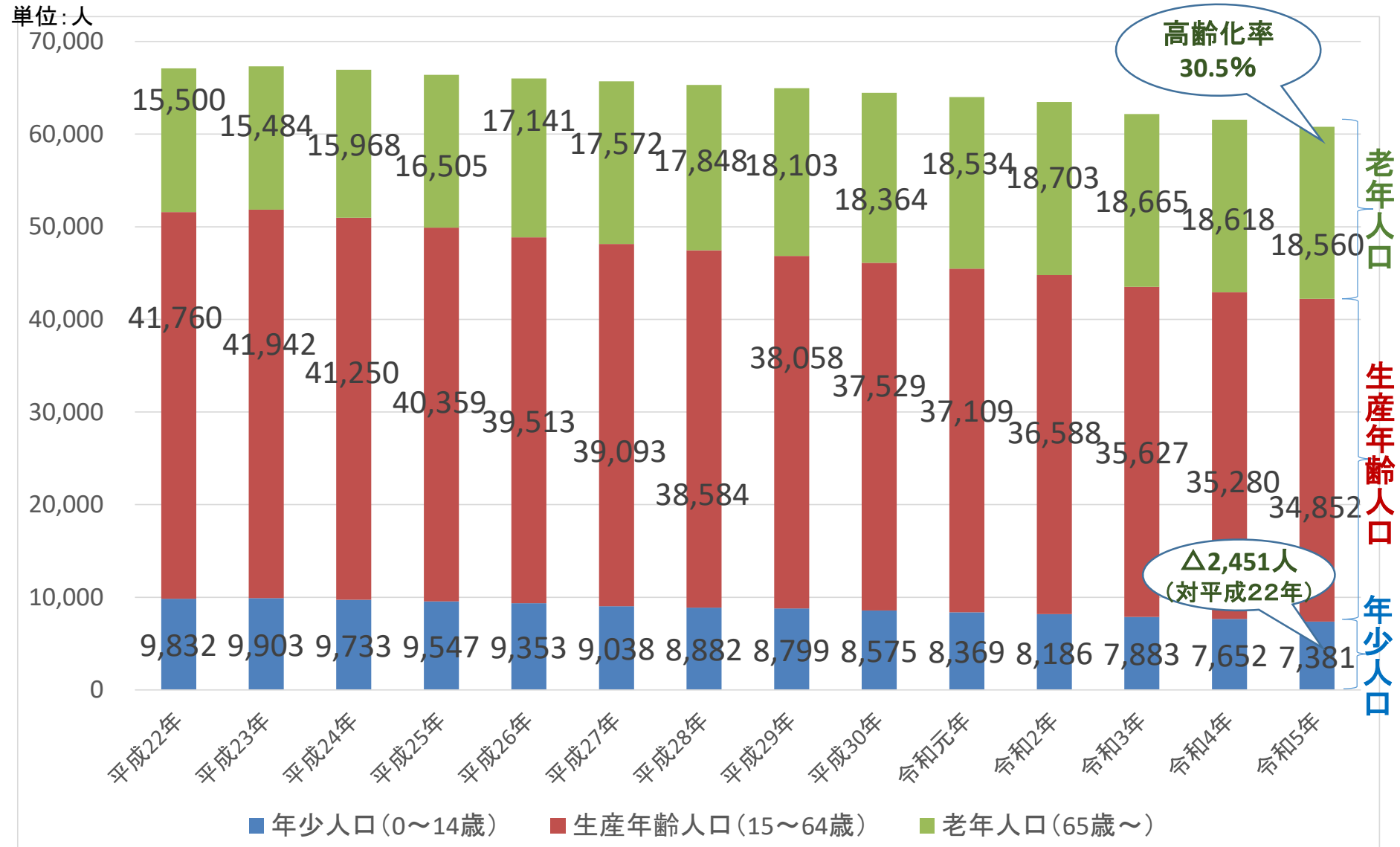
・ 敦賀市の総人口はH23年以降、一貫して減少している。

1. 敦賀市の人口 (2) 推計人口データと住民基本台帳データ

(参考) 2種類ある人口データ

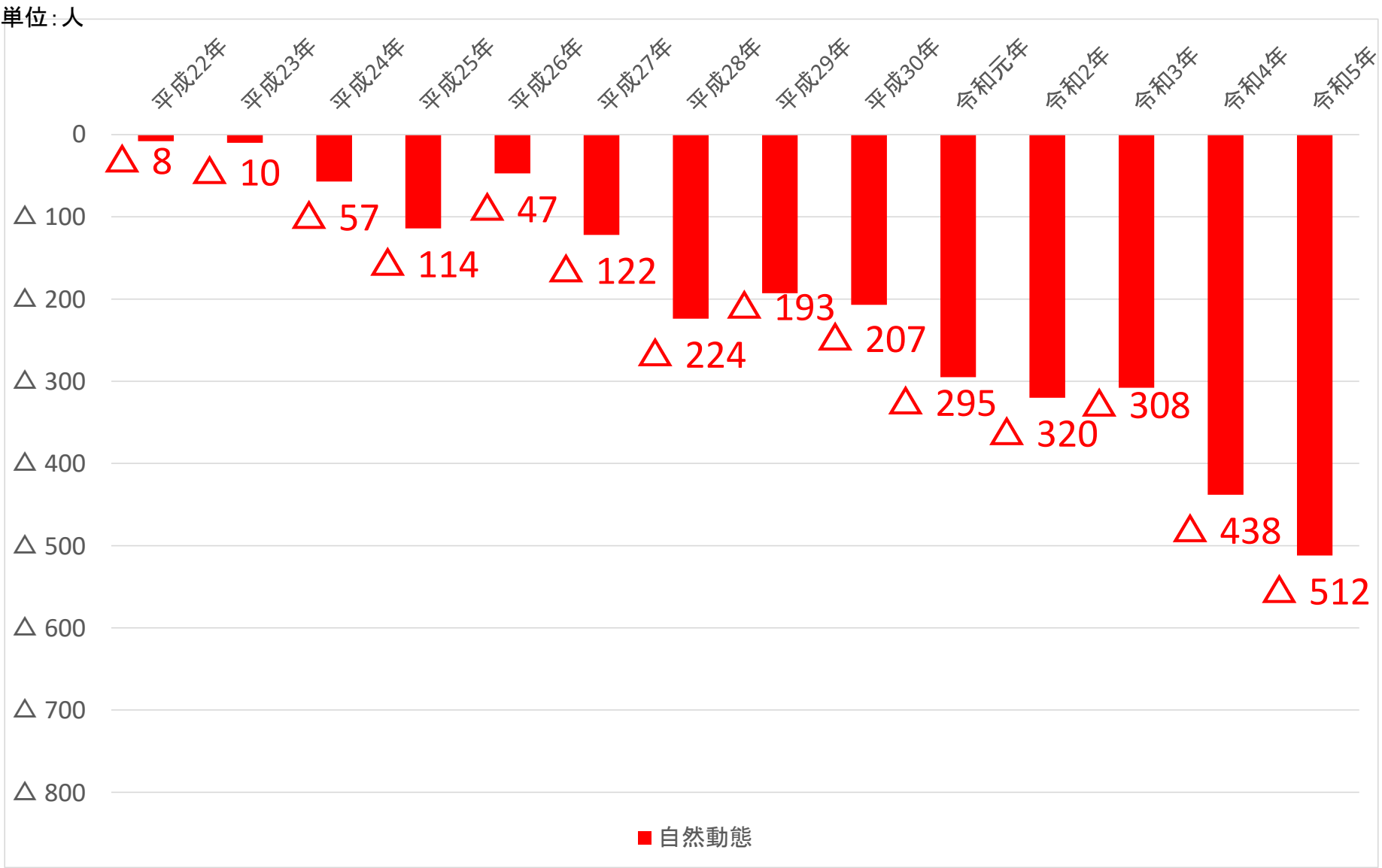
	推計人口	住民基本台帳
数値	推計人口ベース < 住民基本台帳ベース (700~1000人ほど推計人口ベースが少ない)	
特徴	• 国勢調査ベース • 正確さは国勢調査の精度次第 • 他データや自治体間の比較がしやすい	• 住民基本台帳ベース • 正確性は高い
使用	• 社人研統計 • 福井県の推計人口 • 敦賀市総合計画 (敦賀市人口ビジョン) • Wikipedia	• 敦賀市ホームページ • 広報つるが
最新データ	• 61,764人 (R6/4/1)	• 62,531人 (R6/3/31) • 62,550人 (R6/4/30)

1. 敦賀市の人口 (3) 年齢3区分別人口



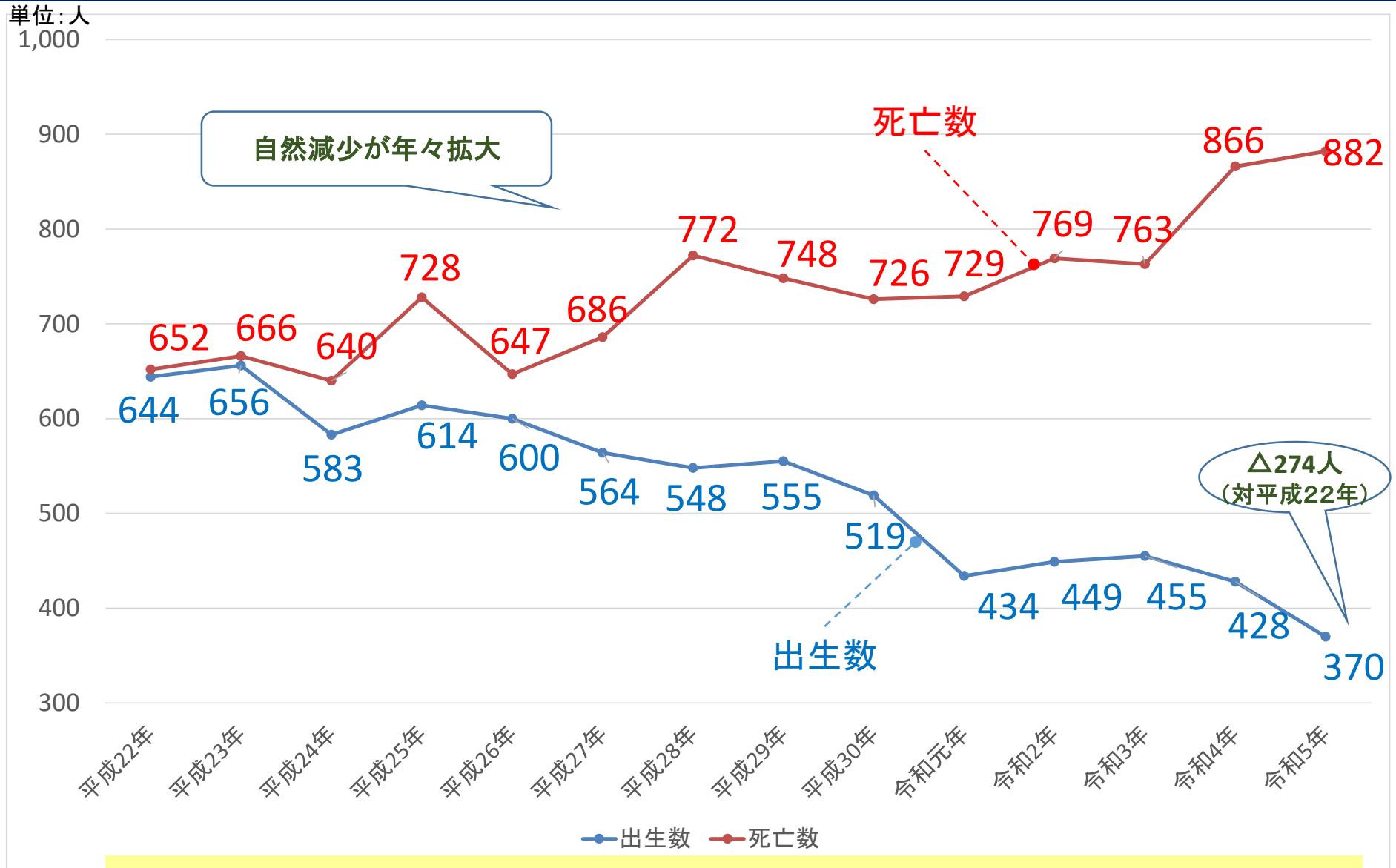
- ・ 敦賀市も高齢化が進んでいる。
- ・ 老年人口は、H22 (2010) → R5 (2023) で3,060人増。R5の高齢化率30.5%。
- ・ 一方、年少人口は減少。H22 (2010) → R5 (2023) で2,451人減少。

2.敦賀市の自然動態 (1) 自然動態



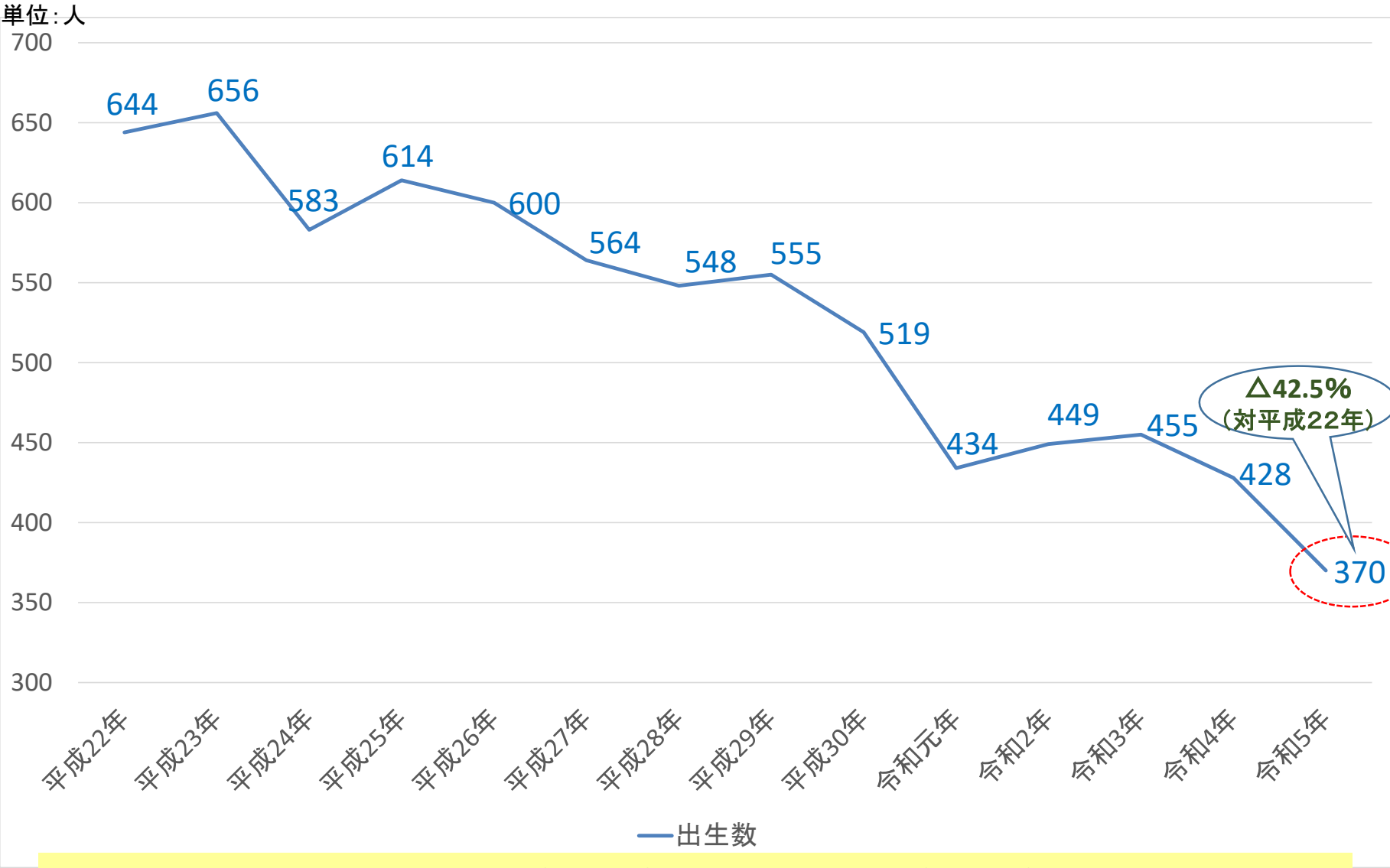
- 自然動態は一貫して「自然減」。
- 「自然減」の減少幅は拡大傾向。

2. 敦賀市の自然動態 (2) 出生数と死亡数



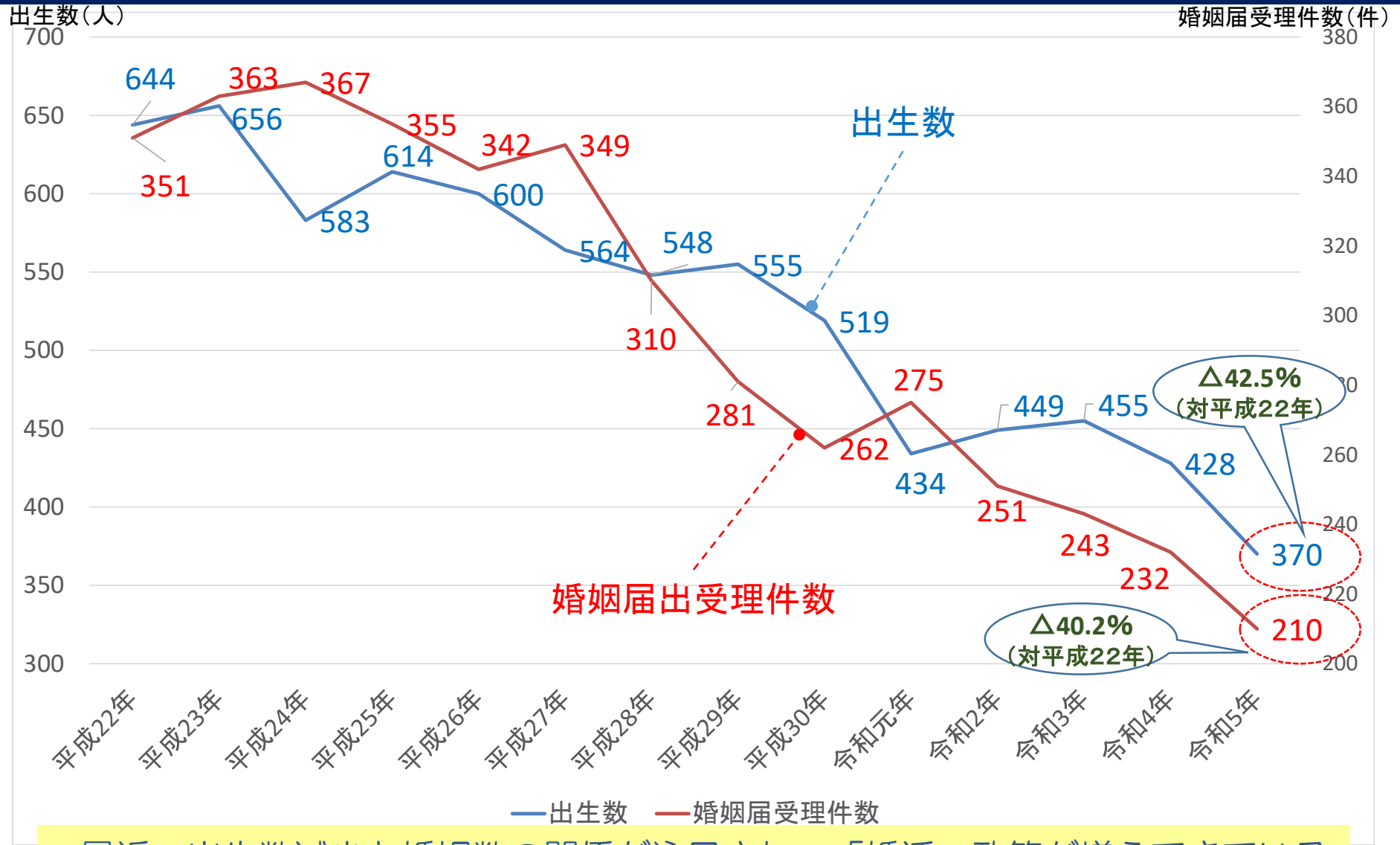
- ・ 死亡数は増加トレンド。老年人口の増加、特に人口のボリュームゾーンである「団塊の世代」が現在75～77歳。
- ・ 出生数は減少トレンド。

2. 敦賀市の自然動態 (3) 出生数



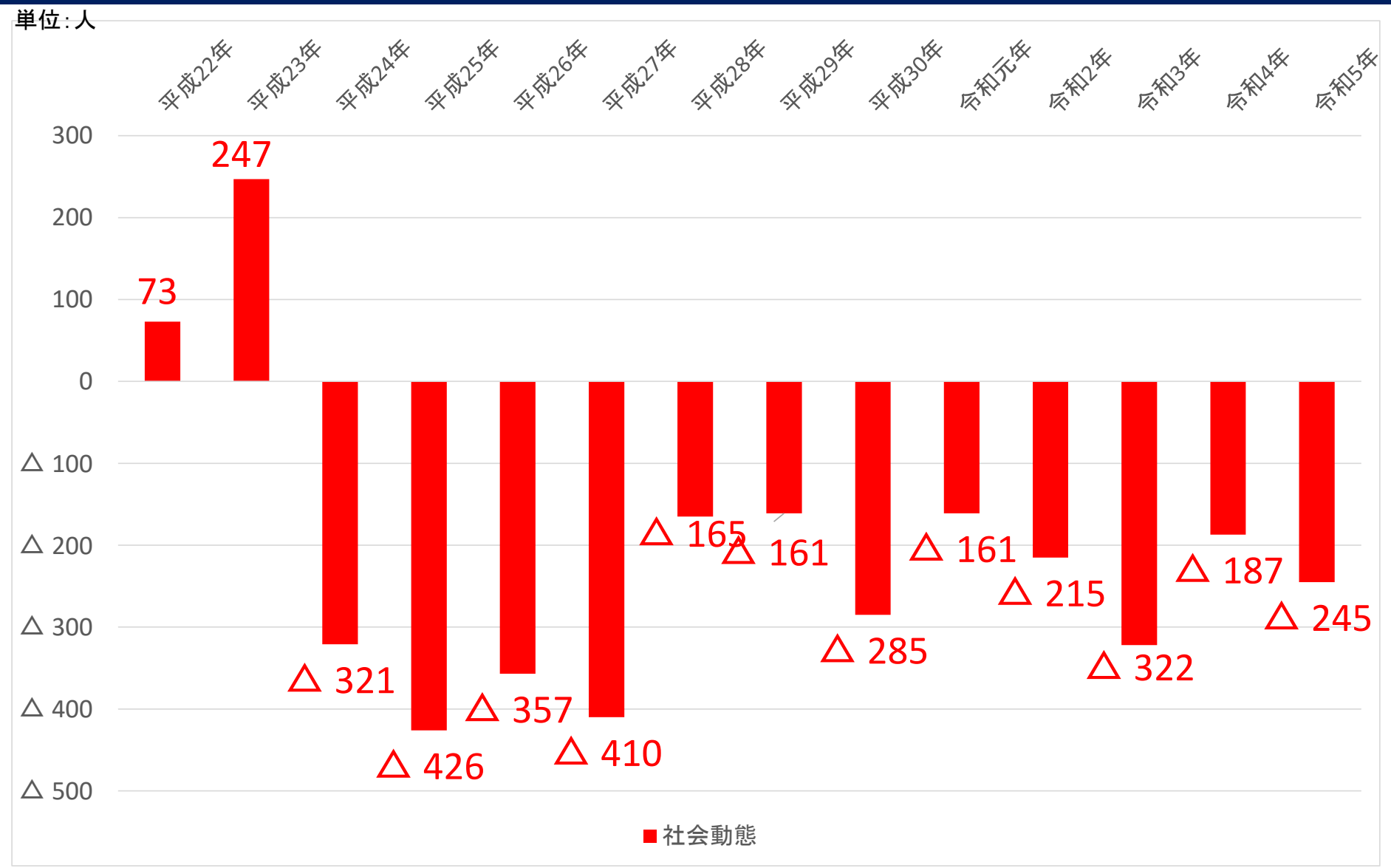
- 出生数は減少トレンド。H22 (2010) : 644人→R5 (2023) : 370人
- 特にここ数年、減少幅が大きく拡大。
H22 (2010) →H29 (2017) の7年間で89人減 (13.8%減)
⇒ H29 (2017) →R5 (2023) の6年間で185人減 (33.3%減)

2. 敦賀市の自然動態 (4) 出生数と婚姻数



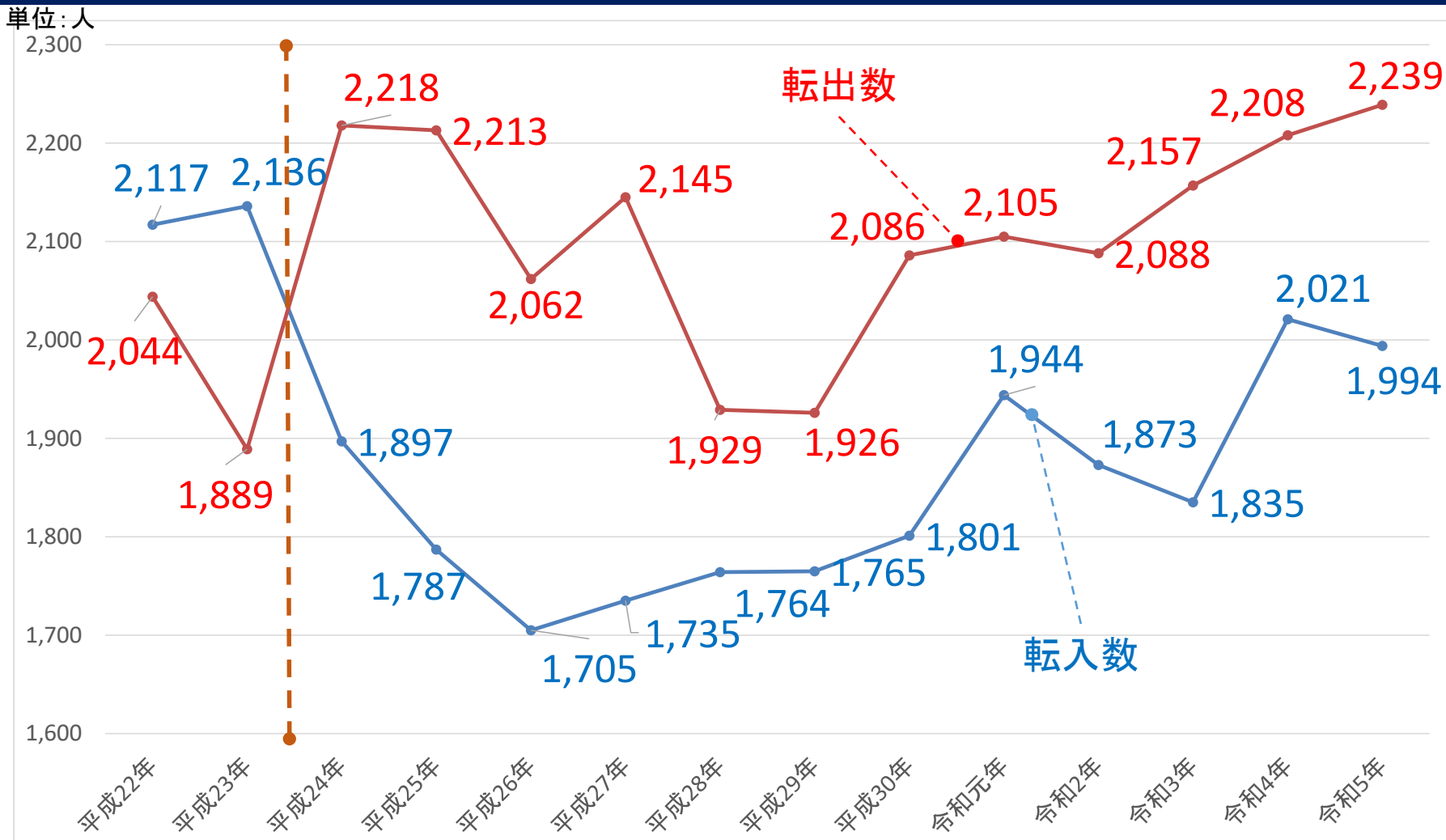
- 最近、出生数減少と婚姻数の関係が注目され、「婚活」政策が増えてきている。
- 敦賀市でも婚姻数は減少。H22（2010）：351件→R5（2023）：210件。
- H22→R5で、婚姻数は40.2%減少、出生数は42.5%減少で、傾向が一致している。

3.敦賀市の社会動態 (1) 社会動態



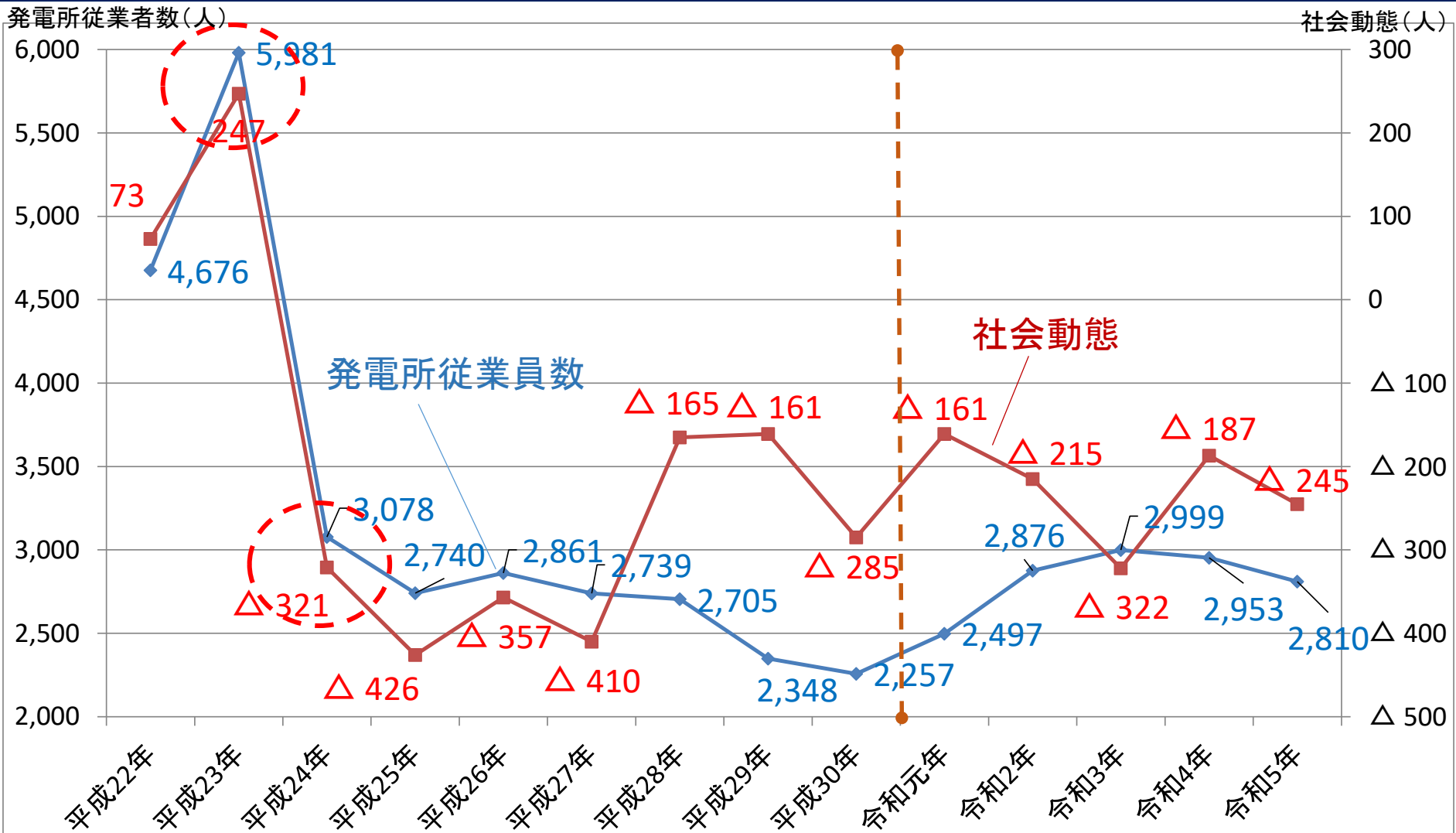
- ・ 社会動態はH24（2012）以降、「社会減」。
- ・ 特に、H24（2012）～H27（2015）には大幅な「社会減」が続いた。

3. 敦賀市の社会動態 (2) 転入数と転出数



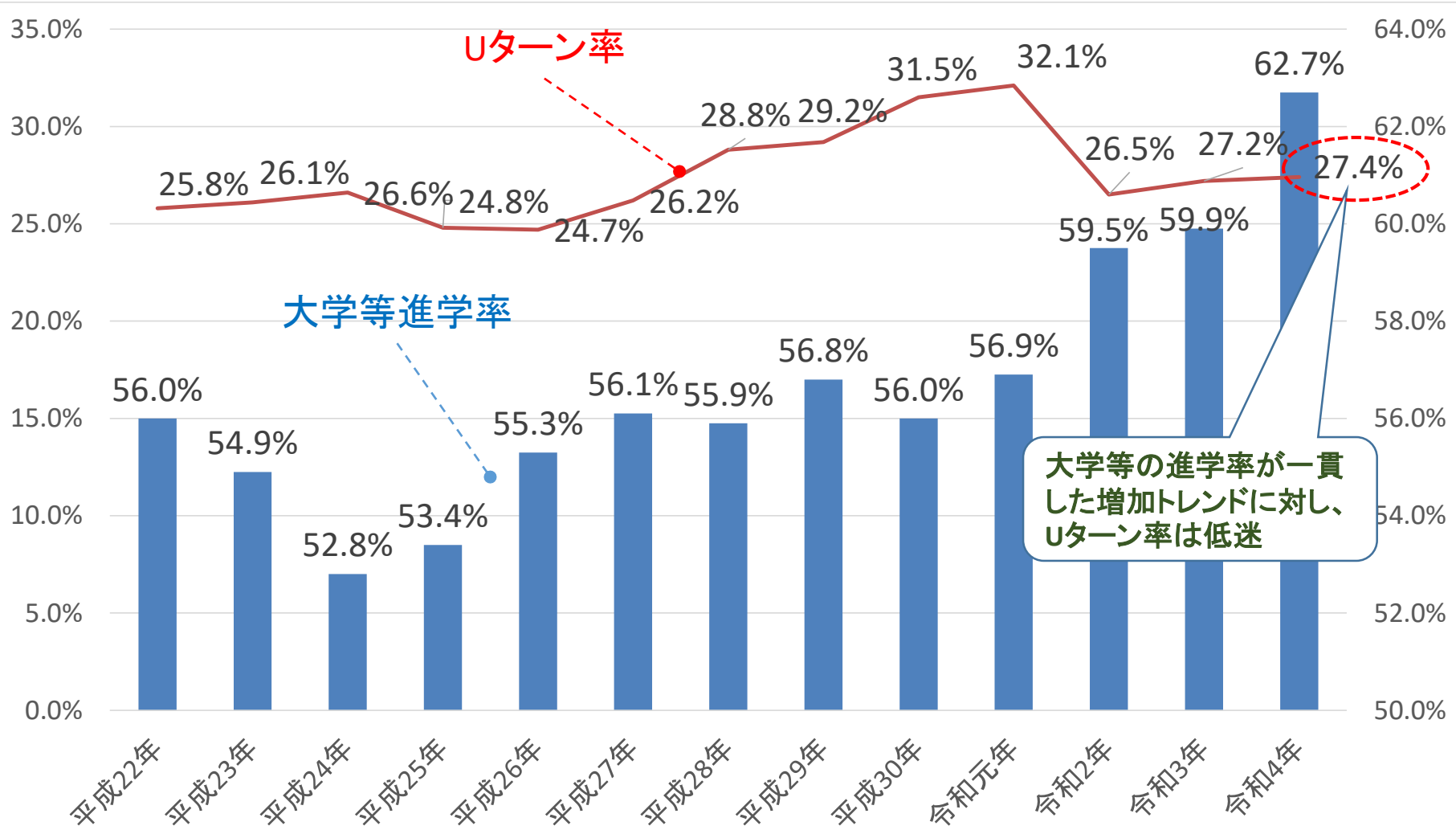
- H24 (2012) 以降は一貫して、「転出数>転入数」。
- 転出数は、H24以降の4年間程が高止まり、H28 (2016) 、H29 (2017) に減少したものの、H30 (2018) 以降は再び増加傾向になり、ここ数年はH24以降並みに多くなっている。
- 転入数は、H24以降の7年程が大幅減、ここ数年は持ち直し。

3. 敦賀市の社会動態 (3) 原子力発電所と社会動態



- H24（2012）以降の数年は社会動態と原子力発電所の従業者数は非常に似た傾向。（原子力発電所の状況による影響を大きく受けていた）
- R1（2019）以降に原子力発電所の従業者数が増加している局面でも、社会減が継続している。（原子力発電所の状況の影響ではない要因も考慮すべき）

3. 敦賀市の社会動態 (4) 大学等進学率とUターン率



- 大学への進学率は近年上昇トレンド。
- 卒業生が650人だとすると、進学率が55%ならば進学者は358人、62.7%ならば408人で、50人多く進学することになる。⇒進学率の影響は大きい。
- Uターン率はR1（2019）まで上昇傾向にあったが、R2（2020）以降は30%を切り、伸び悩み。

4. 敦賀市の人口減少対策 (1) 人口減少をどう考えるか

①なぜ「人口減少」が問題なのか？

生産年齢人口（15～64歳）に対する

従属人口（14歳以下の年少人口と65歳以上の老年人口）の比率が上昇すると、

- ・ 経済が成長しない。
- ・ 社会保障制度の維持が困難になる。
- ・ 労働環境が悪化する。
- ・ 医療、介護の環境が悪化する。

②「人口減少」にどう対応すべきなのか？

人口増加志向【徹底抗戦】



「人口が減っては衰退してしまう。

何としても人口を増やさなくてはならない。」

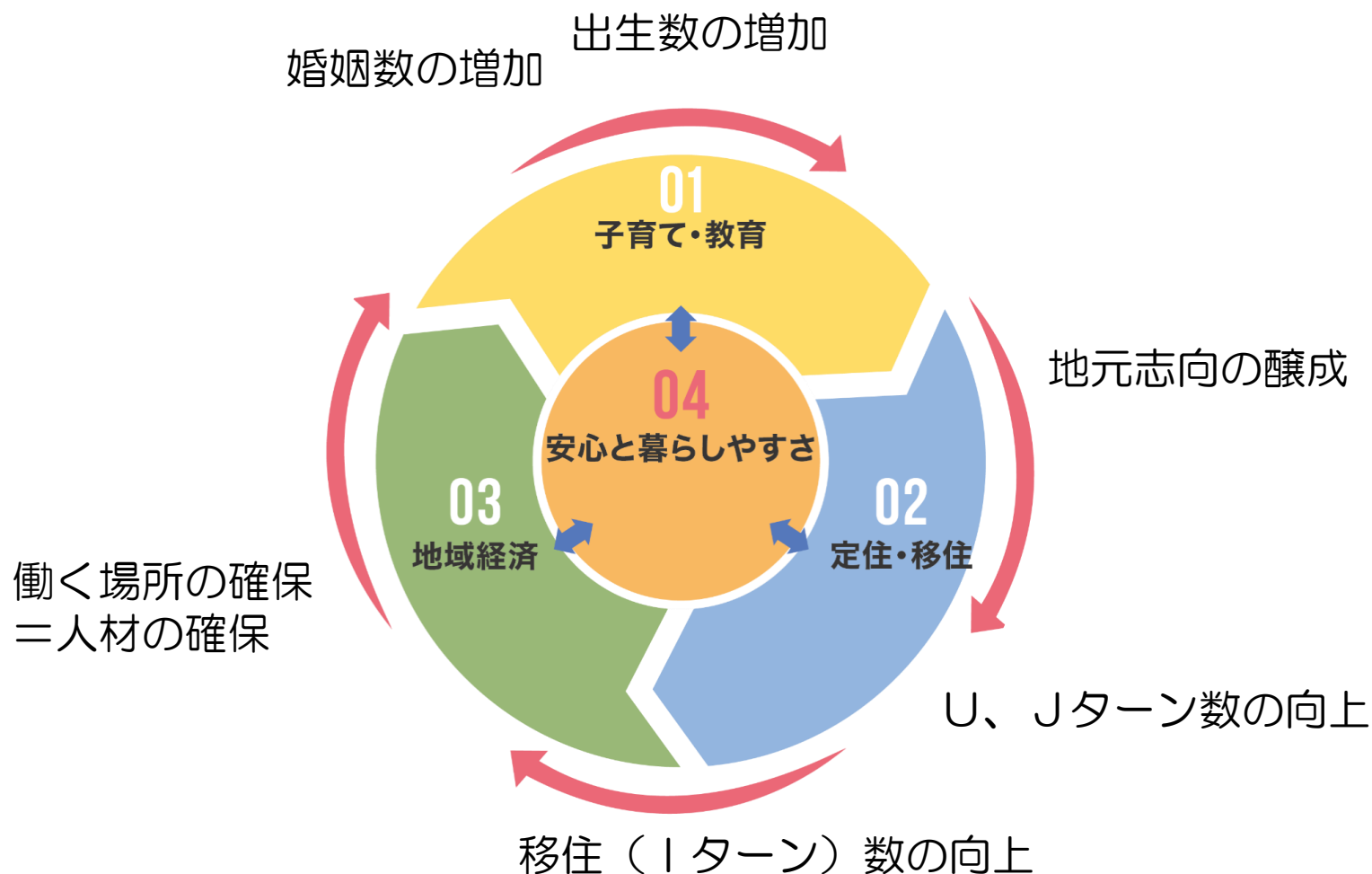
縮小均衡志向【撤退戦】

「人口が減っていくのは避けられない。

上手にダウンサイジングしていくことが大事。」（ex.8がけ行政）

- ・ しばらく（実は長期間）は人口減少が続く。
- ・ しかし、**急激な人口減少**は地域社会に与える影響が大きい。
- ・ 反転スイッチを早めに押さなくてはならない。
- ・ 本当に効果があることは何なのか、をしっかりと考えることが重要。

好循環モデルの実現



- 第8次総合計画で「人口減少対策」をメインテーマに位置づけ。
- R5年度に「人口減少対策室」を設置。（←移住定住推進室）
- 様々な分野（部署）の各種施策を「人口減少対策」を意識しながら立案する。

(3) 人口減少対策の主な施策①

☆結婚支援事業

- ・婚活モチベーション向上
- ・マッチングアプリ利用促進
- ・出会いの場創出支援

☆栗野地区認定こども園の整備

☆新給食センターの建設

☆アウトオブキッザニア

- ・市内業者のキッザニア型職業体験
- ・小中学生対象

☆ステップアップ型デジタル教育

- ・小学生向けプログラミング教室
- ・中高生向けWebサイト構築プログラム
- ・生成AIを活用した地域課題解決プログラム

☆ホームタウン奨学金

- ・敦賀で居住、就労すれば返還全額免除
- ・奨学ローンも敦賀に居住、就労すれば返済支援（最大300万円）
- ・タウンでも企業と連携し、奨学金の返還支援（最大150万円）

☆サテライトオフィスの誘致

- ・サテライトオフィス誘致戦略
- ・企業とのマッチングイベント
- ・オフィス開設の改修費用の補助

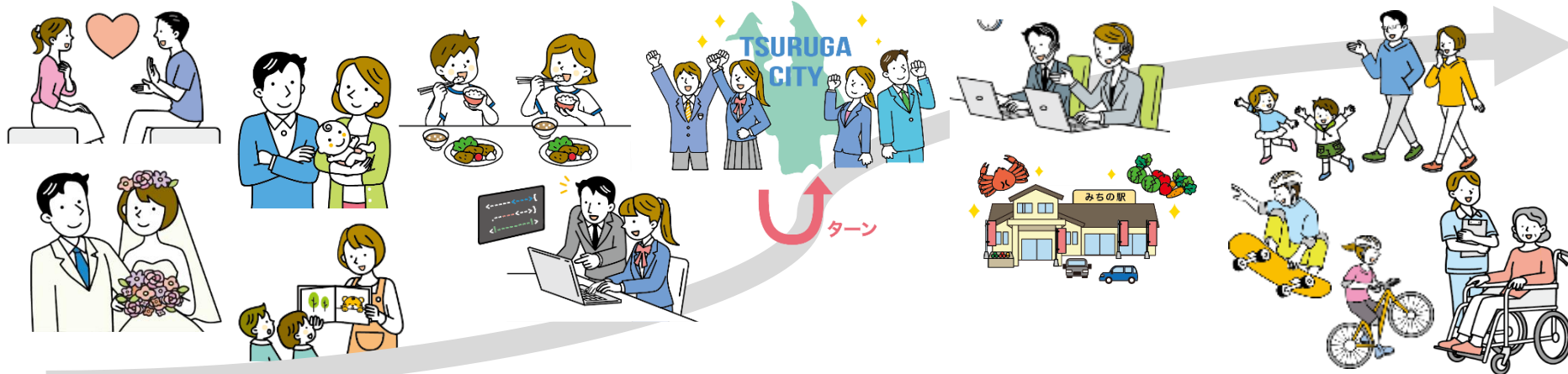
☆道の駅の整備検討

- ・整備の可否や内容の調査を実施

☆企業人材の確保支援

☆一次産業の新ビジネス化

☆アーバンスポーツ 施設の整備



4. 敦賀市の人口減少対策 (3) 人口減少対策の主な施策②

	施策	目的、内容	R6年度事業費
子育て・教育 定住・移住 地域経済 安心と暮らしやすさ	結婚支援事業	出生数に相関（因果？）が高い婚姻数を増やす	7,716千円
	アウトオブキッサニア	子どもと保護者に「敦賀の働く場」を知ってもらう	19,299千円
	ステップアップ型デジタル教育	地元でできる仕事（デジタル関係）のスキルを身につける	19,272千円
	ホームタウン奨学金	大学進学を奨励しつつ、Uターン志向を高める 市内企業の人材確保	752,500千円
	サテライトオフィスの誘致	若い人と親和性の高い「敦賀の働く場」をつくる	20,390千円
	企業人材の確保支援	市内企業の人材確保のため、市内企業の魅力アップ、発信（媒体、セミナー）を支援	7,595千円
	一次産業の新ビジネス化	地方でこそ可能な農業、漁業で経営を成り立たせることを目的に支援	55,207千円
	新道の駅の整備（検討）	敦賀市の一次産業製品の流通、販売ルートを確保することで、一次産業のビジネス化を促進	13,283千円
	アーバンスポーツ施設の整備（検討）	若い人に人気が高まるストリートスポーツを身近に楽しめる街に	5,564千円

進め方は、

1. 人口が減少する要因、ポイントがどこに有るかを見定める。
 - ・出生数減、・若年層の市外（県外）流出
 - ・低いUターン率、・移住者数（Iターン、Jターン）の伸び悩み
2. それぞれの要因、ポイントの対応策を考える。
 - ・「好循環サイクル」に位置付け、他施策との関連性を意識する。
3. 対応策を事業化（予算化）する。
4. 事業を実行する。

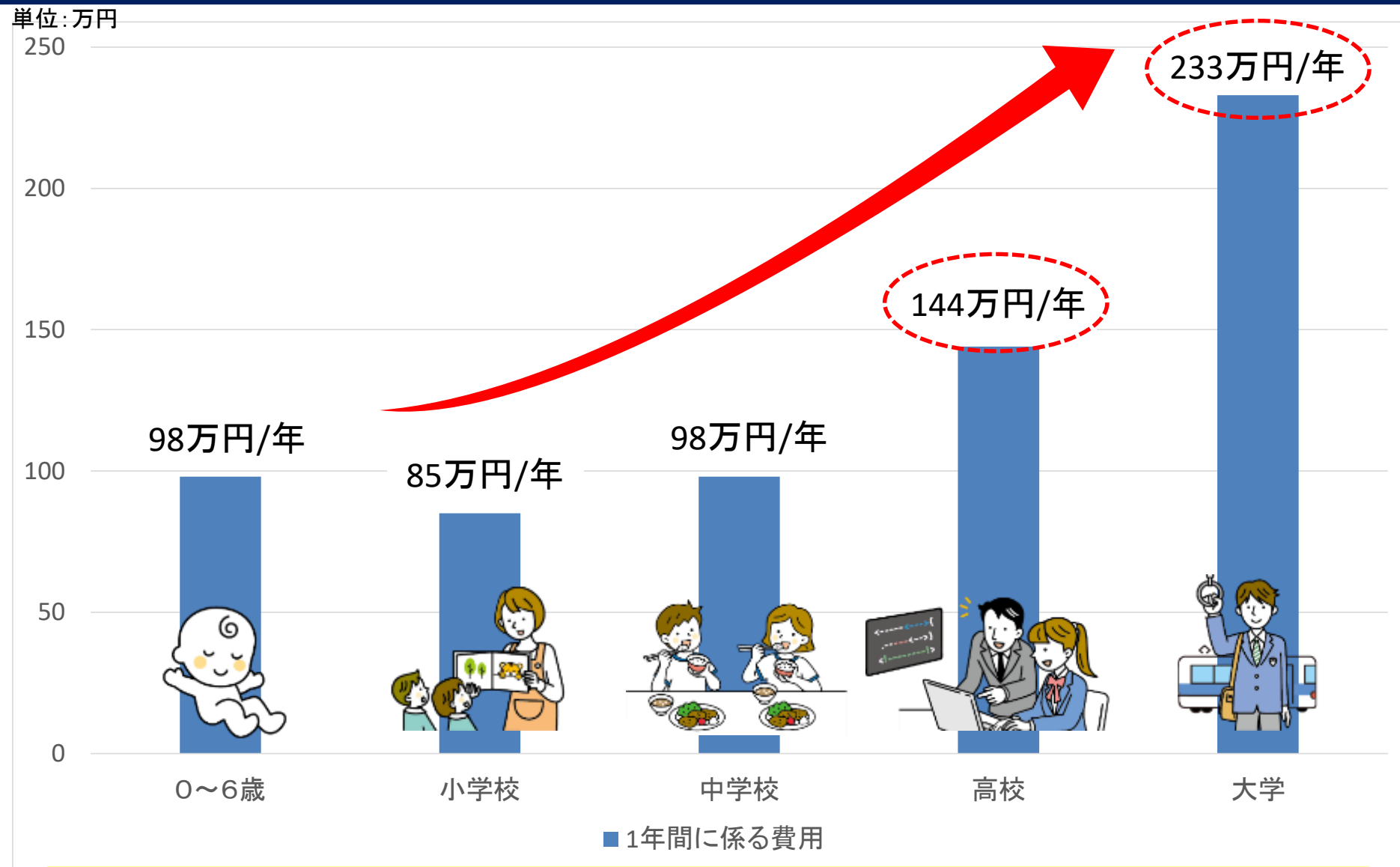
現在の課題は、

1. 人口減少の要因分析がまだ十分でない。
2. 人口減少対策の施策の厚みもまだ十分でない。
3. 各施策の評価方法、効果検証、KPI設定の検討を深める必要。
4. 人口減少対策の取組が、まだ庁内横断的な動きになっていない。
（危機意識が共有できていない）

今後は、

1. 人口減少対策室を最大限にまわしていく。
2. 人口統計データ等はオープンにデータベース化し、議会や市民に活用していただく。

(参考)子育て支援 (1) 子育ての家計負担



- 子育ての家計負担は、高校と大学で急増する。
- 福井県の調査でも「行政に充実してほしい経済的支援」の1位は「高校教育費」、2位が「大学授業料」。(福井県結婚・子育てに関するニーズ調査、R2/3)

(参考) (2) 行政による子育て支援・教育関連事業

	結婚	妊娠	0～6歳	小学校	中学校	高校	大学
子育てに係る費用：計2,753万円 (125万円/年)			588万円 (98万円/年)	508万円 (85万円/年)	294万円 (98万円/年)	430万円 (144万円/年)	933万円 (233万円/年)
国		出産一時金	児童手当				奨学金制度(JASSO)、 大学等無償化
			保育等無償化				
県		不妊治療助成	児童手当				奨学金返済支援(理工学等対象)、 大学授業料減免(扶養2人以上)
			保育料無償化(第2子以降)	子ども医療費助成(中学校修了まで)		高校無償化(扶養2人以上)	
	結婚支援 ※ふく恋アプリ等	ふく育タクシー、ふく家事サポーター、 男性育休支援					
市		不妊治療助成 ※上乗せ	児童手当				ホームタウン奨学金
			保育料無償化(第2子以降)、 保育所、一時預かり等運営	子ども医療費助成(高校修了まで)			市立看護大学無償化(所得制限)
	結婚支援 ※出会いの場創出、民間アプリ等	妊婦・新生児等健康診査、 育児相談・訪問指導 等		児童クラブ、小中学校の整備・運営			市立看護大学運営、 福井大学敦賀キャンパス整備
			保育園や子育て施設の 整備・運営、民間保育園等への支援	アウトオブキッズニア開催事業等による 市内企業への就業促進活動			
			すみずみ子育てサポート等の子育て支援 施策の実施	デジタル人材育成事業 等			

※黒字・・・現金給付、青色・・・準現金給付(無償化や貸付等)、赤字・・・現物給付

・ 子ども1人にかかる行政費用は、約2千7百万円。

(参考) (3) 保育料について

市民税均等割	市民税所得割	その他条件	0～2歳児	3～5歳児
生活保護世帯、市民税非課税世帯			無償	無償 【国】 (R1.10～)
課税世帯	48,600円未満	ひとり親世帯等	5,500円／月	
		上記以外	12,000円／月	
	77,101円未満	ひとり親世帯等	9,000円／月	
	97,000円未満	上記以外	23,000円／月	
	139,500円未満		31,000円／月	
	169,000円未満		39,000円／月	
	301,000円未満		45,000円／月	
	397,000円未満		49,500円／月	
	397,000円以上		53,900円／月	
生計を一にする子どもが3人以上			無償	
年収640万円未満の世帯(R6/8まで)			第2子から無償(県／市)	
第2子以降、年収条件なく(R6/9から)			第2子から無償 年収640万円未満【県／市】(R4/9～) 年収640万円以上【県】(R6/9～)	

参考) 敦賀市で0～2歳児を第1子から無償化すると、
第1子分の保育料のみで約1億円弱の公費負担
(他に保育士の増分確保、施設/設備対応などの費用も必要)

(参考) (4) 給食費について

敦賀市の給食費

	給食費月額（／月）	保護者負担分（／月）	公費助成分（／月）
小学校	約5,450円	4,400円	約1,050円
中学校	約6,300円	5,000円	約1,300円

	給食費総額（／年）	保護者負担分合計（／年）	公費助成分合計（／年）
小学校	190,230,614円	154,057,200円	36,173,414円
中学校	114,991,032円	92,785,000円	22,206,032円
合計	305,221,646円	246,842,200円	58,379,446円

(参考) 国の動き

・R5/3/31 「こども・子育て政策の強化について(試案)」

「学校給食の無償化に向けて。給食実施率や保護者負担軽減策等の実態を把握しつつ、課題の整理を行う」

・R5/6/13 「こども未来戦略方針」(閣議決定)

「学校給食費の無償化の実現に向けて、まず、学校給食費の無償化を実施する自治体における取組実態や成果・課題の調査、全国ベースでの学校給食の実態調査を速やかに行い、1年以内にその結果を公表する。その上で、小中学校の給食実施状況の違いや法制面等も含め課題の整理を丁寧に行い、具体的方策を検討する。」

・R5/6/16 「経済財政運営と改革の基本方針2023(骨太の方針)」(閣議決定)

「学校給食無償化の課題整理等を行う。」

・政府が学校給食を無償化した場合、どれくらいの予算が必要か。⇒年間4,600億円

(完全給食が実施されている公立小中学校の児童生徒数に年間の平均学校給食費を掛けて機械的に算出した数値)

(第211回国会参議院文教科学委員会 R5/3/9)